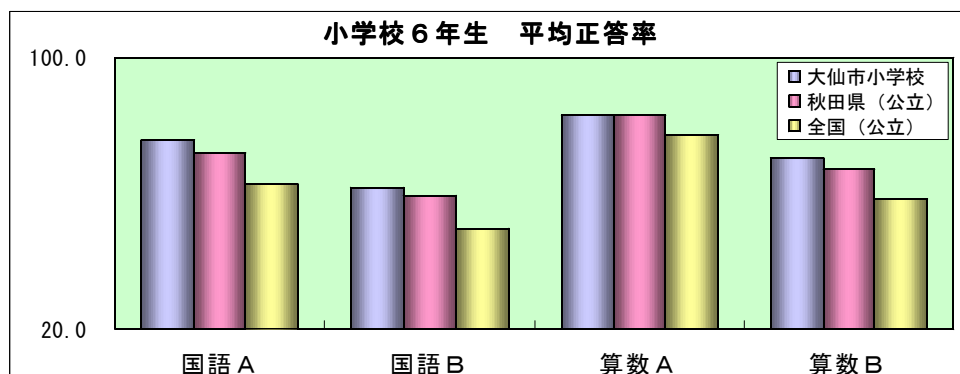


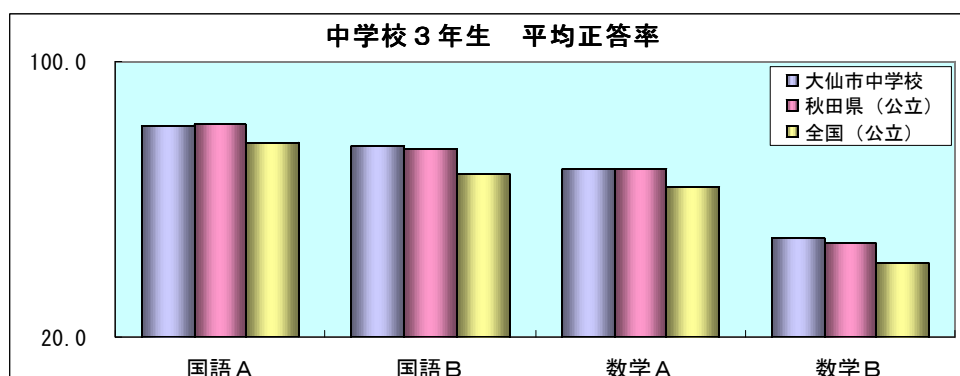
平成25年度全国学力・学習状況調査について

平成25年8月28日 大仙市教育委員会

教科に関する調査結果



○国語 A、B、算数 Bが、全国及び本県の平均正答率を上回り、算数 Aが、本県の平均正答率と同程度であることから、おおむね良好な状況にある。



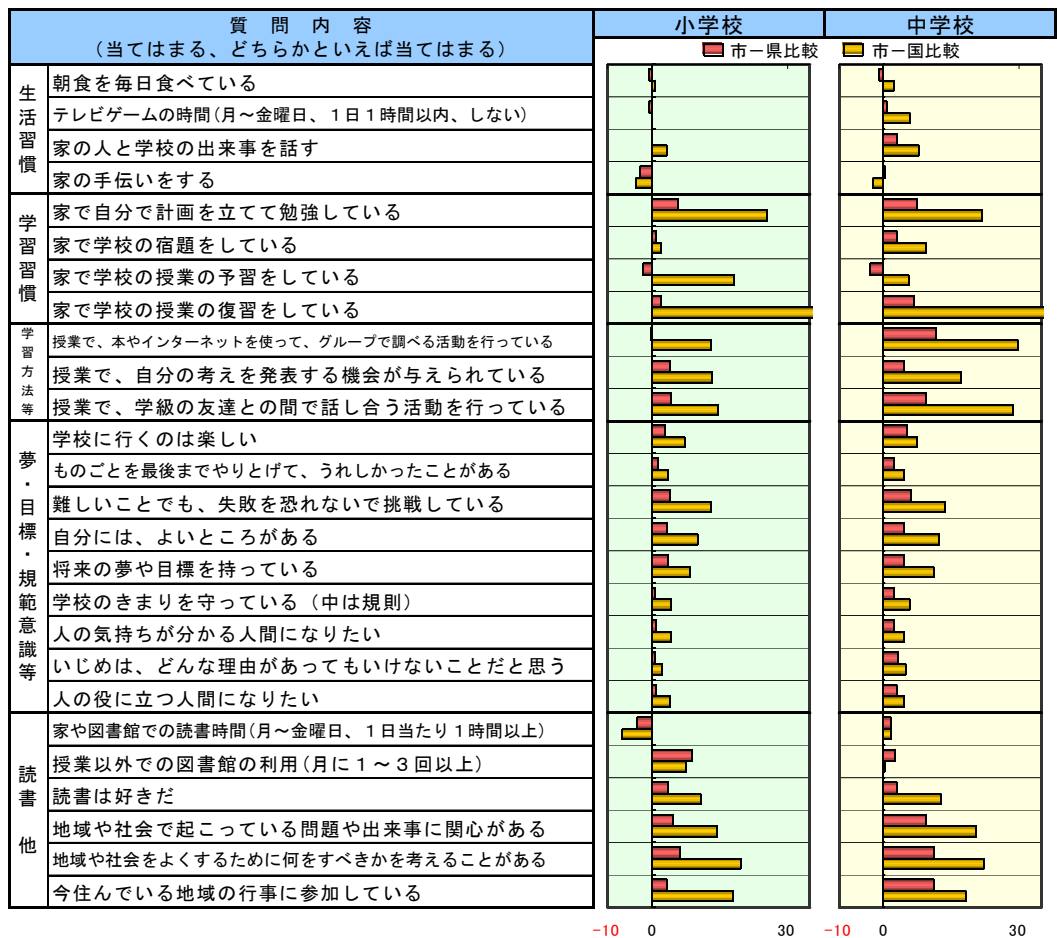
○国語 B、数学 Bが、全国及び本県の平均正答率を上回り、国語 A、数学 Aが、本県の平均正答率とほぼ同程度であることから、おおむね良好な状況にある。

概観

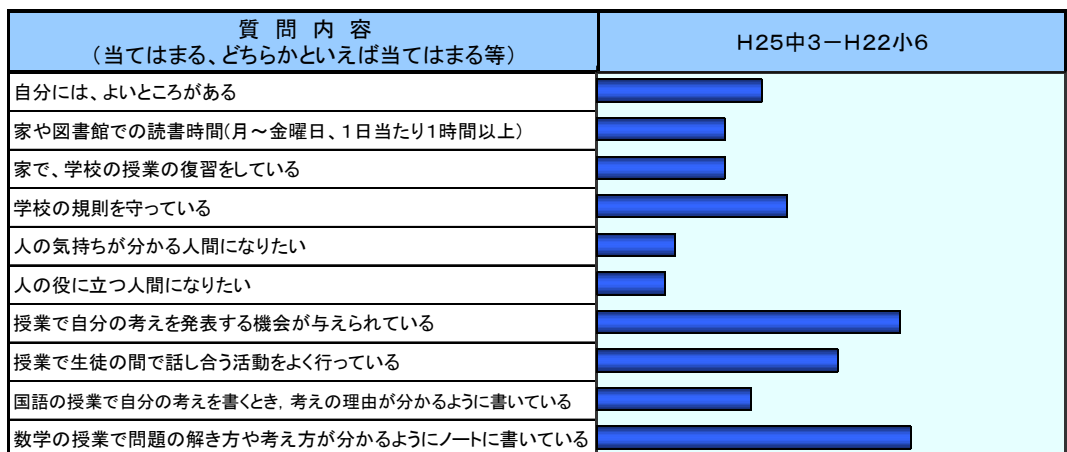
- 全国及び本県との比較における本市の状況は、教科に関する調査及び生活習慣・学習環境に関する質問紙調査のいずれの結果も、小・中学校共におおむね良好な状況にあると捉えている。
- 小・中学校共に活用に関わるB問題において、全国及び本県の正答率を上回っていることから、各学校における組織的な研究体制のもと、小・中連携による9年間を見通した指導により、児童生徒の主体的な学習が進められ、思考力、判断力、表現力等が育成されてきた成果であると捉えている。
- 〔小学校6年生〕
 - ・各学校において、基礎学力の定着を図るとともに、活用に関わる授業改善を進めてきた成果と捉えている。
- 〔中学校3年生〕
 - ・各学校において、知識を活用する力などを育成するための授業改善を進めてきた成果と捉えている。
- 〔生活習慣・学習環境等〕
 - ・家庭や地域との連携の中で、自ら学ぶ意欲が育まれ、学習習慣が確立されている。
- 本市の児童生徒が望ましい生活の中で学習に取り組んでいる結果であるとともに、家庭や地域が好ましいかわりをもって児童生徒の成長を支え、併せて学校の方針等に建設的に協力して下さったおかげであると捉えている。
- 市教育委員会では、本調査結果を十分に活用し、児童生徒一人一人の課題の改善状況を点検するフォローアップシートや指導方法改善に生かす資料等を提示するとともに、教育施策の一層の充実を図るなどして、総合的な学力を身に付け、自ら未来を切り拓いていく児童生徒の育成を目指して、各学校の取組の支援に力を注ぎたいと考えている。

- 夢や目標、規範意識や思いやりなどの道徳性に関わる質問項目は、小・中学生共に概ね良好な状況にある。また、地域や社会への関心も高く、交流・連携を基盤とした体験活動を通して、豊かな心が育まれている成果と捉えている。
- 家庭学習については、「自主学習」や「復習」の実施状況が、全国や本県の平均を上回っており、「一人勉強」の継続等、学校と家庭が連携して学習習慣の確立に取り組んできた成果と捉えている。
- 授業の中で、「自分の考えを発表する機会が与えられている」「話し合う活動を行っている」と回答している状況が全国や本県の平均を上回っており、児童生徒主体の授業改善の成果と捉えている。
- 「家の手伝い」は小・中学生共に、引き続き家庭や地域等との連携を密にして取り組む必要がある。
- 読書指導については、中学生について「家や図書館での読書時間」、小学生について「授業以外の図書館利用」「読書は好きだ」が、前年度に比べて改善が見られ、学校や家庭、地域と連携した取組の成果と捉えている。
- 中学3年生(平成22年度小学6年生)の変容については、読書、規範意識や思いやりなどの面で向上が見られる。また、生徒主体の授業や思考力・判断力・表現力の育成に関わる授業の取組状況の伸びが顕著である。

□児童生徒質問紙(主な項目の全国、本県との比較)



□中学3年生が向上している主な項目(小学6年生の時の結果と比較)

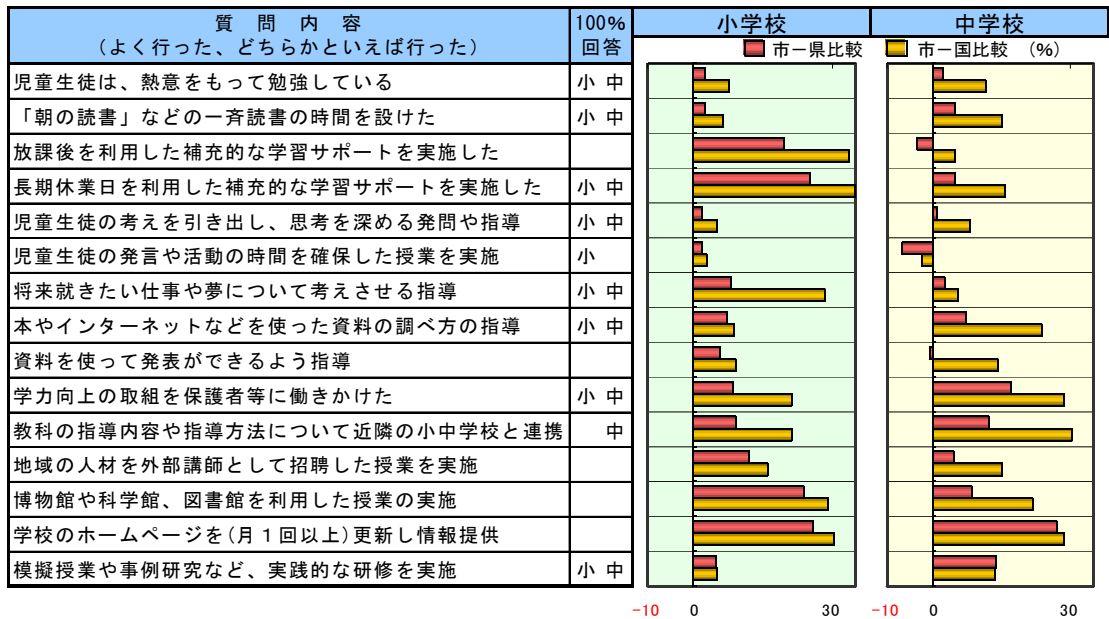


学校質問紙調査結果

(肯定的な回答状況の主な特徴)

- 学習指導については、活用に関する指導、補充的な指導、小・中連携を通じた指導等の実施状況は、小・中学校共に全国及び本県の平均を上回っている質問項目が多く、概ね良好な状況にあると捉えている。特に、「本やインターネットなどを使った資料の調べ方の指導」や「資料を使って発表ができるよう指導」など、活用に関する指導については、前年度の状況から改善傾向が見られる。
- 生き方にかかわる指導、読書指導、研修等についても小・中学校共に全国及び本県平均を上回っている質問項目が多く、学校の積極的な取組姿勢が伺える。また、肯定的な回答は100%となっている。
- 「学力向上の取組を保護者へ公表」「地域人材の授業への活用」「ホームページの更新」に関しては、小・中学校共に全国及び本県平均を上回っており、開かれた学校づくりが進められていると捉えている。
- 生徒主体の学習の実施状況の自己評価は、小学校は全国及び本県平均を上回っているが、中学校は下回っている項目があり、取組の意識に差が見られる。

□学校質問紙 (主な項目の全国、本県との比較)



平成25年度 全国学力・学習状況調査 実施状況

- 1 実施目的 児童生徒の学力維持向上及び学習状況の把握
- 2 実施学年 小学校6年生、中学校3年生
- 3 実施教科 国語、算数・数学
- 4 調査内容
 - ①教科に関する調査(国語、算数・数学)
 - A:「知識」など基礎学力に関する問題
 - B:思考力など「活用」に関する問題
 - ②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査
- 5 実施方式 悉皆調査
- 6 実施期日 平成25年4月24日(火)
- 7 調査対象
 - 全国(国公立小学校) 20,746校 (実施率99.2%)
 - 秋田県公立小学校 227校 (実施率99.6%)
 - 全国(国公立中学校) 10,711校 (実施率95.1%)
 - 秋田県公立中学校 122校 (実施率100%)